

事業所名	夢の地図	支援プログラム	作成日	R7	年	1	月	28	日
法人（事業所）理念	夢を見つけ、なりたい自分になる								
支援方針	<p>&lt;行動方針3つの柱&gt; ○自己肯定感を育み自信をつける ○自立性 ○安心</p> <p>3つの柱を元に活動内容として好きなことを見つけるために色々な遊びや経験、外出体験を行い興味の幅が広がるように行っていく。</p> <p>また自立性が向上できるようにソーシャルスキルトレーニングや集団レクリエーションにより協調性や人の気持ちを理解できるように支援していく。そして本人が安心して相談できるような環境づくりを行う。</p>								
営業時間	平日	10	00	19	00				
	休日	8	30	17	30	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<p>&lt;健康&gt; ◎看護師が駐在しており傷の手当てや持病の症状の観察、バイタルサイン測定により異常の早期発見に努める。</p> <p>◎学校のこと家族のこと等、家族や友達に話しにくい思春期ならではの悩みを信頼できる職員に相談し一緒に状況整理を行う。</p> <p>解決策の見通しを持つことで、精神面の安定を図り二次障がい予防に繋げる。</p> <p>&lt;生活&gt; ◎生活リズムを整える。</p> <p>◎登降所時の身辺動作の整理を利用者に合わせ実施し、習慣化できるように支援する。</p>							
	運動・感覚	<p>&lt;運動&gt; ◎ボール遊びや鬼ごっこ等の遊びの中に運動を取り入れ、楽しめるように支援をしながら基礎体力や身体機能の維持・向上を図る。</p> <p>◎公園遊びにも積極的に出かけ、全身を使った遊びを取り入れる。</p> <p>◎夏場にはプールや川遊びを中心に五感を刺激し、体幹を鍛え基礎体力の向上を図る。</p> <p>&lt;感覚&gt; ◎学習に繋がる目と手の協応動作にも注目し、ビジョントレーニングを遊びにしたりスライム遊び等の指先を使った微細運動を創作活動に取り入れていく。</p> <p>◎利用者の中には特定の感覚に対して過敏・鈍麻があり配慮が必要なため、学校や家庭と情報共有し感覚の偏りに対応するための環境作りを徹底する。</p>							
	認知・行動	<p>&lt;認知&gt; ◎個々のレベルに合った課題（ビジョントレーニング、国語、算数等）を提示し認知学習アップを目指す。</p> <p>◎畑で野菜を育て、色・大きさ・重さ等に触れる機会を作り五感を十分に活用し認知機能の発達を促す。</p> <p>&lt;行動&gt; ◎一人一人の認知や特性を理解・共有し自身の理解のもとに行動したことが、子ども自身の「わかった」「できた」を増やし成功体験に繋がるように支援する。</p> <p>◎1日のスケジュールを口頭だけでなく掲示し視覚化をする。見通しを立て行動の切り替えを習慣化できるように環境構成を行う。</p> <p>◎社会性やマナーについてもSSTや集団活動で学んでいき、日常生活やお出かけ、年間行事といった社会体験を通じて段階的に実践と確認を重ね精神的な成長を促す。</p>							
	言語 コミュニケーション	<p>&lt;言語&gt; ◎帰りの会を用いて、その日の出来事や質問コーナーなど発表する機会を作り、話す力・聞く力を育む。</p> <p>◎語彙が乏しい利用者には絵カードを活用。自分の気持ちを言葉で表現することが苦手な場合には「気持ちカード」の使用や大人が代弁して見せることで、気持ちを表す語彙を増やしていく。</p> <p>&lt;コミュニケーション&gt;</p> <p>◎集団活動では、それぞれのジャンルの遊びを取り入れ、グループで協力したり話し合いを行う場を作りコミュニケーション能力の向上を図る。</p> <p>◎挨拶や日常会話を通じて円滑なコミュニケーションを図る。</p>							
	人間関係 社会性	<p>&lt;人間関係&gt; ◎利用者のアタッチメント（愛着）形成の基盤となる大人の信頼関係を育み、安心基地としての役割を担い、アタッチメントの安定を維持していく。</p> <p>◎一人遊びや集団遊び（カードゲーム・ボードゲーム等）を通し自己理解や他者理解を養う。</p> <p>&lt;社会性&gt; ◎集団活動を通して、人との関わり方、相手の気持ち、自分のことを知る。</p> <p>◎外出時は公共の場所を使っていることの共通認識を持ち、ルールやマナーを守りながら将来の利用に繋げていく。</p> <p>◎外出体験では、伝統工芸・果物狩り・工場見学等幅広く取り入れ将来への選択肢を増やしていくようにしていく。</p>							
家族支援	◎利用した日の様子や学での様子を伝え、情報共有をする。				移行支援		◎学校や家庭、放課後デイサービスでの様子や支援の取り組みについて情報共有を行い、個々に合った共通の対応を行っていく。		
地域支援・地域連携	◎利用者を中心とした支援の輪を構成する関係各所（保健、医療、福祉、教育等）との連携体制を構築し、利用者やご家族が地域で安心して暮らせるよう支援していく。				職員の質の向上		◎職員会議を通して問題点を共有し、支援の質の向上に努める。		
主な行事等	<季節行事> ・誕生日会 ・避難訓練 防災教室 ・交通安全教室 ・料理レク ・創作活動 ・工場見学 ・お花見 ・七夕 ・夏祭り ・ハロウィン ・クリスマス ・節分 ・運動会 ・餅つき 等								